

【スケジュール/コミュニケーション/ユーザー保守ツール】 Exchange Server 2007 Service Pack 3適用環境へのインストールについて

項目	内容
FAQ番号	NSSC2010102902
対象機能	スケジュール(Exchange連携あり) コミュニケーション(Exchange連携あり) ユーザー保守ツール
対象バージョン	Ver5.4
FAQ公開日	2010/10/29 最終更新日：2011/10/06
FAQカテゴリ	動作環境

概要

eValue NSを、「Exchange Server連携」を「する」の設定でインストールし、連携する環境がExchange Server 2007 Service Pack 3の場合、インストーラによるシステム要件チェックにおいて、「Exchange Serverが見つからない」という警告が表示され、インストールを進めることができません。

原因

eValue NSのインストーラでは、システム要件チェック時に、Exchange Server 2007のバージョン番号を厳密に確認しています。そのバージョン番号がExchange Server 2007 Service Pack 3で変更されたため、システム要件チェックで適切なExchange Server 2007が見つからず、警告が表示されます。

対処方法

この現象を回避するための修正プログラムを用意しましたので、本ページから修正プログラムをダウンロードの上、以下の手順でインストールを実施してください。

ダウンロードファイル

- [setup_nssc2010102902.zip](#) (ZIP形式/5.26KB)

インストール手順

1. eValue NS Rel.4(Ver5.4) インストールディスクから、Setupフォルダをサーバー上の任意のフォルダにコピーします。
2. 本FAQで公開されている圧縮ファイルをダウンロードして展開します。
3. 手順2. で展開されたSetupフォルダを手順1. でコピーしたフォルダに上書きコピーします。
4. 手順1. でコピーした「eValueSetup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動します。
なお、インストール対象アプリケーションによって、実行する「eValueSetup.exe」のパスは異なります。
 - スケジュール/コミュニケーションのインストールの場合
¥Setup¥eValue¥eValueSetup.exe
 - Exchange メールボックスアクセスプログラムのインストールの場合
¥Setup¥evSC_EMB¥eValueSetup.exe
 - ユーザー保守ツール 仮想ディレクトリ作成の場合
¥Setup¥UserToolExVDir¥eValueSetup.exe
5. セットアップマニュアルを参照し、インストールを行います。

このページに掲載している情報は、いかなる保証もない掲載当時の情報を元に提供されるものです。したがって、お客様がご覧になった時点での正確性、妥当性を含めて、これらの内容について弊社およびその関連会社は、明示的にも黙示的にも一切の保証はいたしかねます。さらに、これらの情報を利用した結果により発生した直接的、間接的、偶発的、結果的損害、逸失利益、または特別損害を含むすべての損害に対して、状況のいかんを問わず弊社は一切責任を負いません。